ICT活用工事(小規模土工)積算要領

1. 適用範囲

本資料は、バックホウを用いて行う下記のいずれかに該当する小規模な土工に適用する。ただし、共同溝工、電線共同溝工、情報ボックス工(ダンプトラック運搬を除く)及び光ケーブル配管工(ダンプトラック運搬を除く)には適用しない。

- ・1箇所当りの施工土量が 100m3 程度までの掘削, 積込み及びそれらに伴う運搬作業
- ・1箇所当りの施工土量が100m3程度まで、又は平均施工幅2m未満の床掘り及びそれに伴う埋戻し、舗装版破砕積込(舗装厚5cm以内)、運搬作業

また, 適用土質は, 土砂(砂質土及び砂, 粘性土, レキ質土)とする。

なお、「1箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が連続している場合は、連続している区間を1箇所とする。

2. 機械経費

2-1 機械経費

小規模土工(ICT)の積算で使用するICT建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、土木工事標準積算基準書の「第 2章 工事費の積算」①直接工事費により算定するものとする。

① 小規模土工(ICT)

	1				
作業の種類	作業の内容	機械名	規格	摘要	
掘削積込	標準	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	
積込み	上記以外	小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山 積 0. 13 m³ (平 積 0. 1 m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	
舗装版破砕積込	_	小型バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山・積0.13m³(平積0.1m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	
床掘り	施工幅1m未 満	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山 積 0.28m³ (平 積 0.2m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	
床掘り	施工幅1m以 上2m未満	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	後 方 超 小 旋 回 型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m³(平積0.35m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	
埋戻し		バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山 積0.28m³ (平 積0.2m³)	はねつけ ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	
生灰し		タンパ及びランマ	質量60~80kg	締固め	
NE lón		ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t積級	バックホウ山積0.28m³ (平積0.2m³)の場合	
運搬	_	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t積級	″ 山積0.13m³ (平積0.1m³) の場合	

(注)作業の内容における上記以外とは、構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような 狭隘な箇所及び1箇所当りの施工土量が50m³以下の箇所とする

2-2 ICT 建設機械経費加算額

2-2-1 損料加算額

ICT 建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2-1機械経費のうち損料にて計上する ICT 建設機械に適用する。なお、加算額は、以下のとおりとする。

(1) 小規模土工(ICT)

対象建設機械:バックホウ 損料加算額:5,470円/日

2-3 その他

ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。

2-3-1 保守点検

ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。

(1) 小規模土工(ICT)

2-3-2 システム初期費

ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

小規模土工(ICT)

対象建設機械:バックホウ

費用:ICT 建設機械経費損料加算額に含む

3. 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。また、3次元起工測量を実施した場合は、3次元設計データの作成費用と同様に計上するものとする。

4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、標記経費は計上しない。ただし、受発注者協議の上、面管理にて出来形管理を実施する場合は、必要額を適正に積み上げるものとする。

5. 積算方法

受注者からの提案・協議により ICT 施工を実施した場合は、[ICT 建設機械使用割合 100%] を 用いて積算するものとする。

[参考]

1. 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。

表1.1 機種の選定

作業の種類	作業の内容	機械名	機械経費	規格	摘 要
掘削積込	標準	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	損料にて 計上	原準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)	
積込み	上記以外	小型バックホウ (クローラ型)	損料にて 計上	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山 積 0.13 m³ (平 積 0.1 m³)	
舗装版破砕 積 込	_	小型バックホウ (クローラ型)	損料にて 計上	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山 積 0.13 m³(平 積 0.1 m³)	
床掘り	施工幅1㎜未	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	損料にて 計上	後 方 超 小 旋 回 型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)	
床掘り	施工幅1m以上 2 m 未 満	ッ ク ホ ウ (クローラ型)	にて計上	方 超 小 旋 回 型 ・ ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.45m³ (平積0.35m³)	
埋戻し		バ ッ ク ホ ウ (クローラ型)	損料にて計上	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m [®] (平積0.2m [®])	はねつけ
		タンパ及びランマ	損料にて 計上	質量60~80kg	締固め
Nari Lián.		ダンプトラック	損料にて 計上	オンロード・ディ ーゼル 4t積級	バックホウ山積0.28m³ (平積0.2m³)の場合
運搬	_	ダンプトラック	損料にて 計上	オンロード・ディ ーゼル 2t積級	″ 山積0.13m³ (平積0.1m³) の場合

(注)作業の内容における上記以外とは、構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な箇所及び1箇所当りの施工土量が50m³以下の箇所とする。

2. 掘削積込作業及び積込作業

2-1 日当り施工量

バックホウによる掘削積込及び積込作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表2.1 日当り施工量

(1日当り)

作業の内容	名 称	規格	単 位	地 山 の掘削積込	ルーズ な の み
標準	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)	\mathbf{m}^3	40	45
上記以外	バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.13m³(平積0.1m³)	JJ	16	23

3. 舗装版破砕積込作業

3-1 日当り施工量

舗装版破砕積込作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表3.1 日当り施工量

(1日当り)

名	称	規	格	単 位	数	量
バ ッ (クロー	ク ホ ウ ラ型)運転	標準型・排出ガス対策 山積0.13㎡(平積	型(第2次基準値) O. 1m³)	m^2	2	

4. 床 掘 作 業

4-1 施工幅1m未満

4-1-1 日当り施工量バックホウによる床掘作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表4.1 日当り施工量

(1日当り)

名 称	規格	単 位	数量
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)	m^3	34

4-1-2 補助労務

床掘作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。

表4.2 床掘補助労務

(10m³当り)

名	称	単 位	数量	摘 要
普 通 作	業員	人	0.3	基面整正及び浮き石除去含む

4-2 施工幅1m以上2m未満

4-2-1 日当り施工量

バックホウによる床掘り(作業土工)の日当り施工量は、次表を標準とする。

表4.3 日当り施工量

(1日当り)

作業の					数	量
内容	名 称	土質名	規 格	単位	障害 なし	障害 あり
標準 (平均施工幅 1 m以上 2m 未満)	バックホウ	レキ質土・砂・砂質土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.45m3(平積 0.35m3)	\mathbf{m}^3	163	109
	(クローラ型) 運転	岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積 0.45m3(平積 0.35m3)	m^3	119	76

(注) 1. 現場条件の内容

①床掘り (作業土工)

障害なし:(1)構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない オープン掘削の場合。

> (2) 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない 矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。

障害あり:(1) 床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合 (例えば作業障害が多い場合)。

- (2) 土留・仮締切工の中に、切梁・腹起し又は基礎杭等の障害物がある場合。
- ②掘削箇所が地下水位等で排水をせず水中掘削作業を行う場合は障害ありを適用する。
- ③基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100㎡当り普通作業員2人を別途計上する。
- 2. 上表にクレーン作業は含まない。

4-2-2 補助労務

構造物等(共同溝を除く)の施工に当り土留方式により床掘作業を行う場合, 土留材等に付着する土(土べら)及び腹起し・切梁・火打梁等により機械掘削出 来ない箇所,小規模な湧水処理等の作業のため,普通作業員を計上する。

(100m³当り)

表 4. 4 床掘補助労務

作業の種類	土留方式	名 称	単位	数量
床 掘 り (作業土工)	自立式	普通作業員	人	0.3
	切梁腹起し方式	IJ	"	0.9
	グランドアンカー方式	IJ	"	0. 7

. 埋 戻 作 業

5-1 適用範囲

機械による埋戻し(敷均し含む)及び締固めの一連作業に適用する。

5-2 日当り施工量

バックホウによる埋戻作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表5.1 日当り施工量

(1日当り)

名 称	規格	単 位	数量
バ ッ ク ホ ウ (クローラ型) 運転	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0. 28m³(平積0. 2m³)	m^3	40
タ ン パ 運 転	質量60~80kg	11	36

(注) 上表には、はねつけ~締固めまでの作業が含まれる。

5-3 補助労務

埋戻作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。

表5.2 埋戻作業補助労務

(10m³当り)

	名	杉	5	単位	数量	摘 要
普	通	作 業	員	人	0.8	敷均し及びタンパ締固め補助

(注) 上表には、はねつけ~締固めまでの作業が含まれる。

6. 運 搬 作 業

6-1 施工歩掛

運搬作業の施工歩掛は、次表を標準とする。

運搬作業の施工歩掛は,次表を標準とする。

表6.1 ダンプトラック運搬日数(土砂)

(10m³当り)

積込機種・規格		、ックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.28m³(平積0.2m³) 、ックホウ(クローラ型)[後方超小旋回型・排出ガス対策型(第2次基準値)]山積0.28m³(平積0.2m³)												
運搬機種・規格	ダンプ	ブンプトラック[オンロード・ディーゼル]4t積級												
DID区間:無し														
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.0 以下	19.0 以下	35.0 以下	60.0 以下
運搬日数 (日)	0.2	0. 25	0.3	0. 35	0.4	0. 45	0. 5	0. 55	0.6	0.8	0.9	1. 1	1. 5	2. 3
					D	ID区間	: 有り							
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	27.0 以下	60.0 以下
運搬日数 (日)	0.2	0. 25	0.3	0.35	0.4	0. 45	0.5	0. 55	0.6	0.8	0. 9	1. 1	1.5	2. 3

表6.2 ダンプトラック運搬日数(土砂)

(10m³当り)

積込機種・規格	バック:	ホウ(ク	ローラ	型) [標	準型・	排出ガフ	対策型	(第2次	基準値)]山積0.	13m³ (平	積0.1m	·)	
運搬機種・規格	ダンプ	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]2t積級												
DID区間:無し														
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.5 以下	60.0 以下
運搬日数 (日)	0. 45	0. 5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1. 1	1.3	1.5	1.8	2. 3	3. 0	4. 5
						DID区間	引:有り							
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.0 以下	11.0 以下	15.0 以下	24.0 以下	60.0 以下
運搬日数 (日)	0. 45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1. 1	1.3	1.5	1.8	2. 3	3. 0	4. 5

- (注) 1. 上表は地山10m3の土量を運搬する日数である。
 - 2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なるときは、平均値とする。
 - 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途計上する。
 - 4. DID (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。
 - 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途考慮する。

6-2 補正係数 (K)

舗装版破砕積込作業歩掛に対する適用土質 (アスファルト塊) による補正は、次式により行うものとし、補正係数 (K) の値は次表とする。

10m³当り運搬日数=土砂の10m³当り運搬日数×(1+K)

表6.3 補正係数(K)

補 正 係 数 +0.30

7. 単 価 表

(1) バックホウ掘削積込10m³当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0. 28m³(平積0. 2m³)又は 山積0. 13m³(平積0. 1m³)	日	10/D	表2.1 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) D:日当り施工量

(2) バックホウ積込10m³当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)又は 山積0.13m³(平積0.1m³)	日	10/D	表2.1 機械損料
諸雑	#	式	1	
計				

(注) D:日当り施工量

(3) バックホウ舗装版破砕積込10m²当り単価表

	名	1	称	規格	単位	数量	摘要
/	バックホウ (クローラ	⁷ 型)	運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.13m³(平積0.1m³)	日	10/D	表3.1 機械損料
	諸	雑	費		式	1	
		計					

(注) D:日当り施工量

(4-1) バックホウ床掘10m³当り単価表(施工幅1m未満)

名 称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人		表4.2
バックホウ (クローラ型)運 転	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0. 28m³(平積0. 2m³)	日	10/D	表4.1 機械損料
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) D:日当り施工量

(4-2) バックホウ床掘 100m^3 当り単価表(施工幅1 m以上2 m未満)

名 称	規格	単位	数量	摘要
普通作業員		人		表4.4
バックホウ (クローラ型)運 転	排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.45m3 (平積0.35m3)	日	100/D	表4.3 機械損料
諸雑費		式	1	
計				

(注) D:日当り施工量

(5) バックホウ埋戻し10m3当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
普通作業員		人		表5.2
バックホウ (クローラ型)運転	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山 積0. 28m³ (平積0. 2m³)	П	10/D	表5.1 機械損料
タンパ運転	質量60~80kg	"	10/D	
諸 雑 費		式	1	
計				

(注) D:日当り施工量

(6) ダンプトラック運搬10m³当り単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル 4t積級又は2t積級	日		表6.1~表6.3 機械損料
諸 雑 輩	3	式	1	
計				

(7)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)	機—33	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 40 機械損料数量→ 1.59
II .	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.13㎡(平積0.1㎡)	機 一 33	機械損料数量→ 1.33
II .	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0. 28㎡(平積0. 2㎡)	機一 33	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 40 機械損料数量→ 1.59
バックホウ (クローラ型) (床掘り)	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0. 45m3 (平積0. 35m3)	機一33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ 48 機械損料数量→1.33
ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t積級	機—22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 34 機械損料数量→ 1.18
II	オンロード・ディーゼル 2t積級	機—22	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 23 機械損料数量→ 1.17
タンパ及びランマ	質量60~80kg	機23	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 6 機械損料数量→ 1.64 主 燃 料→ ガソリン

		臣	行				₹.	Đ:		
別紙一8		3	2		別紙-8		3			
		ICT活用工事(川	ICT活用工事(小規模土工)積算要領				I CT活用工事 (,	ICT活用工事(小規模土工)積算要領		
 適用範囲 本資料は,バックホウを用いて行う 同溝工,電線共同溝工,情報ボックス ラック運搬を除く)には適用しない。 	クホウを用(溝工,情報が)には適用(いて行う下記のいず ミックスエ (ダンプ) しない。	*れかに該当する小規模な トラック運搬を除く)及で	- 適用範囲 本資料は,バックホウを用いて行う下記のいずれかに該当する小規模な土工に適用する。ただし,共 同溝工,電線共同溝工,情報ボックスエ(ダンプトラック運搬を除く)及び光ケーブル配管工(ダンプト ラック運搬を除く)には適用しない。	巨文	クホウを用い 帯工、情報ボ には適用し	ハで行う下記のいす ックスエ (ダンプ ない。	- 適用範囲 本資料は、バックホウを用いて行う下記のいずれかに該当する小規模な土工に適用する。ただし、共 同溝工、電線共同溝工、情報ボックスエ(ダンプトラック運搬を除く)及び光ケーブル配管工(ダンプト ラック運搬を除く)には適用しない。	な土工に適用する。た び光ケーブル配管工(だし、米ダンプト
・1箇所当りの ・1箇所当りの 伴う埋戻し、舗 また、適用土 なお、「1箇月 る場合は、連締	施工士量が 施工土量が 装版破砕債〕 質は, 土砂 所当り」とは している区間	・1 箇所当りの施工土量が100m3程度までの掘削,積込みが・1 箇所当りの施工土量が100m3程度まで,又は平均施工(半う埋戻し,舗装版破砕積込(舗装厚 5 cm 以内),運機作業また,適用土賃は,土砂(砂質土及び砂、粘性土,レキ質なお,「1 箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1 箇所る場合は,連続している区間を1 箇所とする。	・1 箇所当りの施工土量が100m3 程度までの掘削,積込み及びそれらに伴う運搬作業・1 箇所当りの施工土量が100m3 程度まで,又は平均施工幅2m未満の床掘り及びそれに半う埋戻し,舗装版破砕積込(舗装厚 2 cm 以内),運搬作業また,適用土賃は、土砂(砂質土及び砂、粘性土,レキ質土)とする。なお,「1 箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1 箇所当りのことであり,目的物が、5場合は,連続している区間を1 箇所とする。	に伴う運搬作業 の床掘り及びそれに 。。 とであり,目的物が連続してい		施工士量が 1 施工士量が 1 装版破砕構込 質は、土砂 「当り」とは している区間	・1 箇所当りの施工士量が100m3程度までの掘削、積込み入・1 箇所当りの施工土量が100m3程度まで、又は平均施工4件う埋戻し、舗装版破砕積込(舗装厚 2 cm 以内)、運機作業また、適用土質は、土砂(砂質土及び砂、粘性土、レキ質なお、「1 箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1 箇所なお、「1 箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1 箇所なお、「1 箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1 箇所なお、「1 箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1 箇所なお、「1 箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1 箇所をお	・1 箇所当りの施工土量が100m3 程度までの掘削、積込み及びそれらに伴う運搬作業・1 箇所当りの施工土量が100m3 程度まで、又は平均施工幅2m未満の床掘り及びそれに半う埋戻し、舗装版破砕積込(舗装厚 5 cm 以内)、運搬作業また、適用土質は、土砂(砂質土及び砂、粘性土、レキ質土)とする。なお、「1箇所当り」とは目的物(構造物・掘削等)1箇所当りのことであり、目的物が、5場合は、連続している区間を1箇所とする。	に伴う運搬作業 の床掘り及びそれに 5。 とであり、目的物が連続してい	続してい
2. 機械経費					2. 機械経費 6. 4. 株林浴典					
2-1	CT)の積多	草で使用する ICT 建	-1. 腐敗性質 小規模上エ(ICT)の積算で使用する ICT 建設機械の機械経費は、以	(下のとおりとする。	2 - 1 機械 小規模 (I(CT)の積算	〔で使用する ICT 建	-1. 쎲枕柱貞 小規模土工(ICT)の積算で使用する ICT 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする	人下のとおりとする。	
なお、損料については、最 費の積算」①直接工事費に ① 小規模土工 (ICT)	いては、最新 接工事費に _。 I (ICT)	なお、損料については、最新の「建設機械等損料算2費の積算」①直接工事費により算定するものとする。 ① 小規模土工(ICT)	なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、土木工事標準積算基準書の「第2章費の積算」①直接工事費により算定するものとする。 ① 小規模土工 (ICT)	準積算基準書の「第2章 工事		いては、最第 接工事費によ <u>「</u> (ICT)	なお、損料については、最新の「建設機械等損料算を費の積算」①直接工事費により算定するものとする。② 小規模土工(ICT)	なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、土木工事標準積算基準書の「第2費の積算」①直接工事費により算定するものとする。 ② 小規模土工 (ICT)	準積算基準書の「第2	申 口 身
作業の種類	作業の内容	3 機 械 名	規格	摘要	作業の種類	作業の内容	機械名	規格	蘅寒	
掘削積込	標準	バックホウ(クローラ型)	・ 標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山/青0.28m³ (平・青0.2m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	掘削積込	標準	バックホウ	, 標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山(積0,28m³ (平(積0,2m³)	ICT 建設機械経費 加算額は別途計上	
積込み	上記以外	小型バックホウ (タロニラ型)		ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	積込み	上記以外	ベロ		ICT 建設機械経費 加算額は別途計上	
舗装版破砕積込	ı	小型バンク型)	- 標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山/積0.13m³(平/積0.1m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	舗装版破砕積込	1	小型バンクホウ (クロニラ型)	・ 標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.13m³(平積0.1m³)	ICT 建設機械経費 加算額は別途計上	
床掘り	施工幅1m未	バックホウ (クローラ型)	後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排山ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	床掘り	施工福1m未	バックホウ(クローラ型)	, 後 方 超 小 旋 回 型 · 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28m³(平積0.2m³)	ICT 建設機械経費 加算額は別途計上	
床掘り	施工幅1m以 上2m未満	バックホウ(クローラ型)	後 方 超 小 旋 回 型・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0. 45m (平積0. 35m³)	ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	床掘り	施工幅1m以 上2m未満	バックホウ()	後 方 超 小 旋 回 型・ 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m [®] (平積0.35m [®])	ICT 建設機械経費 加算額は別途計上	
 近 里	ı	バックホウ(クローラ型)	後 方 超 小 旋 回 型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m³ (平積0.2m³)	はねつけ ICT 建設機械経費加算 額は別途計上	 [D] 里		バックホウ(クローラ型)	後 方 超 小 旋 回 型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	はねつけ ICT 建設機械経費 加算額は別途計上	
) K		タンパ及びランマ	質量60~80kg	雑固め	H K		タンパ及びランマ	質量60~80kg	禁団み	
ver I/a.		ゲンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t積級	バックホウ山積0.28m³ (平積0.2m³) の場合	net rav		ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 4t積級	バックホウ山積 0.28m³ (平積0.2m³) の場合	
連搬	l 	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t積級	" 山椿0.13㎡ (平積0.1㎡) の場合	連搬	1	ダンプトラック	オンロード・ディーゼル 2t積級	$\frac{n}{0.13m^3}$ 山積 $($ 平積 $0.1m^3$ の場合	
(注) 作業の内容に 狭隘な箇所及で	こおける 上記り タ1 箇所当りの -)作業の内容における上記以外とは,構造物及び進造物等の障害 数隘な箇所及び1箇所当りの施工土量が50m³以下の箇所とする	(注) 作業の内容における上記以外とは、構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような教経な箇所及び1 箇所当りの施工土量が 50m°以下の箇所とする	条件が制限されるような	(注) 作業の内容に 狭隘な箇所及ひ	:おける上記以. <1 箇所当りの,)作業の内容における上記以外とは,構造物及び建造物等の障害 数隘な箇所及び1箇所当りの施工土量が 50m²以下の箇所とする	(注)作業の内容における上記以外とは、構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような 数監な箇所及び1箇所当りの施工土量が50m ³ 以下の箇所とする	条件が制限されるような	

松	2-2 ICT 建設機械経費加算額 2-2-1 損料加算額 ICT 建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費 用とし、2-1機械経費のうち損料にて計上するICT 建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。 (1) 小規模土工 (ICT) 対象建設機械:バックホウー(ICT 地工対応型) 損料加算額:5,470円/日	ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。 2-3-1 保守点検 ICT建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。 (1) 小規模土工(ICT) 施工教量(m3) 保守点検費 = 土木一般世話役(円)× 0.05(人/日) × (作業日当り標準作業量 (m3/日) 2-3-2 システム初期費 ICT施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、分規模土工(ICT) 小規模土工(ICT) 対象建設機械:バックホウ	費用:ICT 建設機械経費損料加算額に含む 3 次元起工測量・3 次元設計データの作成費用 3 次元起工測量・3 次元設計データの作成費用 3 次元起工測量を実施した場合は、3 次元起工測量を実施した場合は、3 次元設計データの作 成費用と同様に計上するものとする。 3 次元出来形管理・3 次元データ納品の費用、外注経費等の費用 原則、断面管理にて出来形管理を実施するため、標記経費は計上しない。ただし、受発注者協議の 上、面管理にて出来形管理を実施する場合は、必要額を適正に積み上げるものとする。	・積算方法 受注者からの提案・協議により ICT 施工を実施した場合は、[ICT 建設機械使用割合 100%] を用いて積算するものとする。 算するものとする。
現 行	2- 2	ICT建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。	### ### ### #########################	5. 横算方法 受注者からの提案・協議により ICT 施工を実施した場合は、[ICT 建設機械使用割合 100%] を用いて積 受注者か 算するものとする。 算するものとする。

				苗介									9				
																	T
[参考]	E da l'alla	41.85		1						2 3 8 2 4	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1				
1.	5作業に使用す	各作業に使用する機械・規格は、	は、次表を標準とする	んせる。					1. 各作業に	各作業に使用する機械・規格は,	規格は, 次妻	次表を標準とする	°¢				
			表1. 1	1 機種の選定									表1.1 機種	機種の選定			
	作業の種類	作業の内容	機械名		規格		摘要		作業の種類	単 作業の内容	*	我 火	機械経費	田		極	
華	削積込	標準	バックオ(クローラ	ホウ標型・場ラ型・	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	(基準値) . 2m³)			\$\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		- 1/x		<u> </u>	TH.			
類	Ķ	上記以外	バックローラ	本 型) (標準型 ・排出ガス対策型(第2次基準値 山/積0.13m³(平/積0.1m²)	(基準値) . 1m³)			報	草	準 (クロケ	クホウ -ラ型)	損弊にて	臺灣里·畠川7次城里(第2次基準 山積0.28m³(平積0.2m³)			
舞	舗装版破砕積込	_	を マロを)	本 ウ 標準・場型・場型・場型・場が (単元)	標準型 · 排出ガス対策型(第2次基準値 山 (積0.13m。(平 (積0.1m。	(基準值) . 1m³)				7 T	≼	小型バックホウ	損料にて	秦非里、排出ガス対策型(第2次基準順)	300		
长	棚り	施工幅1冊	1 2 2 X	ホウ (株式) ラ型) 出籍の	後 方 超 小 旋 回 型 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山稽0,28m³ (平緒0,2m³)	集型 (準値) 2m³)			华野球	4	<u> </u>	EH 12 √2	. ,	山 薗 O. 13m° (平 墳 O. 11. (新町・駐平がスな番渕 /約9/を基準)			
*	歯の	大	() () () () () () () () () ()	本型	後方超小旋回型 排出7x就型 第3次基準	回型・次基準値			横横	1	(4,7,7)	: EH		直養 0.13m (平養 0.1m			
<u> </u>		遲	1 / " () " () " () ()	世 (4) (4)	山積0.45m° (半積0.35m°) 後 方 超 小 旋 回 型 排出ガス対策型 (第2次基準値) は起かるのよう (許達をできます)	1.	はおつけ		来	る 相米 日	1 (クロイ)	ク ホ ウ -ラ型)	横巻にて	後 万 超 4、100 日 型 排出7.4 新型 (第2次基準値) 山積0.28m² (平積0.2m²)			
W	展し	Î	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				縮固め		不離る	9 施工幅1班以上	S	バックトウロール型	損料にて計上	後方超小旋回型· 掘が水源型(原水基準)	類。		
			ダンプトラ	ンクインログ	ード・ディ	い ルユー	ックホウ山積0.28m³ ※待0.9m3)の担合			1	>			山橋0.45㎡(牛債0.35㎜	r.		
剰	执	Í	ダンプトラ	7 6	デ・ディ	1/4-	(平旗0. 75m) 7. % 日	□ [©] E.Ar	四		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	クホゥ -ラ型)	横続にて	後 方 超 小 旋 回 型 ・ 排出ガス対策型 (第2)、基準値 山積0. 28m*(平積0. 2m³)	i taot	ott.	
	作業の内容に			及び建造物等の)障害物により + z)施工条件3	is制限される」	こうな	≼)	タンパル	タンパ及びランマ	指料にて	質量60~80kg	籍固め	Q	
		<u> </u>	■七十年~2011 11 11 11 11 11 11 11	· 文 · 文 · · · · · · · · · · · · · · · ·	9,0						ガンブ	トラック	横巻にん	オンロード・ディ ーゼル 4t積級		バックホウ山横0.28m³ (平積0.2m³) の場合	
)型	養 — —	ガンプ	トラック	損棒にて	オンロード・ディ ーゼル 2t積級	(平編	" 山積0.13m ³ (平積0.1m ³) の場合	
										(注) 作制限	:業の内容にま 艮されるよう!	sげる上記り s狭隘な箇戸	外とは,構造 i及び1箇所当	(注)作業の内容における上記以外とは、構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な箇所及び1箇所当りの施工土量が50m ⁵ 以下の箇所とする。	の障害物に 50m ³ 以下	こより施工条件が の箇所とする。	
2. 掘削	掘削積込作業及び積込作業 2 — 1 日当り施工量	責込作業 量							2. 掘削積込作業	掘削積込作業及び積込作業							
	バックホウに	よる掘削積込及	パックホウによる掘削積込及び積込作業の日当り施工量は,次表を標準とする。	ヨ当り施工量に	t, 次表を標準	£245°			2-1 日当り バックホ	日当り施工量 シクホウによる掘削科	積込及び積込	作業の日当) 施工量は, 多	日当り施工量 ペックホウによる掘削積込及び積込作業の日当り施工量は,次表を標準とする	°		
			表2.	1 日当り施工量	0 121		F)) \$				表2.1 目	日当り施工量			(1日当り)	
	作業の内容	₩		淵	进	位期間積	(以) (以) (本) (本) (本) (本) (本)	48K	#	作業の内容	各	#	規格	単位掘	当権込	イ 大 が が か のな	
	□	シロ 	□ □	標準學·辨出ガス対策型(第2次基準順) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)	2次基準配 m³	40	45		72	標 準 (ク)	7-5型)	ク薄	標準型・非出ガス対策型(第2次基準値 山積0.28m (平積0.2m)	m ₃	40	45	
	上記以外	(V)	クポウラ型)運転	標準看・非出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.13㎡(平積0.1㎡)	2次基準値) //	16	23			上記以外 パッジ	7ーク型)	運転	震雄型・井出ガス対策型(第2次基準値 山積0.13㎡(平積0.1㎡)	n n	16	23	
		<u>.</u>							3. 舗装版破砕積込作業	[5.7.作業							
3. 舗装	舗装版破砕積込作業3-1 日当り施工量	₩₩							3 - 1	日当り施工量							

									l				
		現	行					经	致				
舗装版破砕	積込作業の日当り崩	舗装版破砕積込作業の日当り施工量は,次表を標準とする。	準とする。		_	舗装版破砕	舗装版破砕積込作業の日当り施工量は,次表を標準とする。	工量は, 次表を標	準とする。				
		表3.1 日当	日当り施工量 (1)	1日当り)				表3.1 日	日当り施工量		(1日当り)		
	名	林	格単位数	邮			名称	, 規	格	単 位 数	曹		
	バッツーク型)	軍力	標準型・株出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.13m [*] (平積0.1m ³)				バッツーク型 ホ	運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.13m°(平積0.1m°)	m^2	23		
4. 床 擂 作 業4-1 皆工幅1m未勝	揽					4. 床 擂 作 業4-1 格工幅1m未描	拇						
	A 日当り施工量バックオ	いつによる床掘作業の	///シー/コーコ 日当り施工量/ベックホウによる床掘作業の日当り施工量は、次表を標準とする。			4-1-1	//	ウによる床掘作業の	の日当り施工量は,	次表を標準とする	°°		
		表4.1 日当り施工量		(1日出り)				表4.1 日当り施工量	雪日		(1月当り)	_	
	名称	規	1 格 単位数	曲			名称	¥	規 格	単位	数量	l l	
<i>"</i> (~~	、クックをは、クローラ型)	運転	後方超小華回型· 排出分ス対策型(第2次基準値) m³ 山積0.28m°(平積0.2m°)	34		* <u>(</u> `	(クローラ型)	ウ 様出ガス対 運転 山積0.28m³	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.28㎡(平積0.2㎡)	m ³	34		
4-1-2 補助労務 床掘作業の補助	労務 補助労務は,作業の	一2 補助労務 床掘作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。	火 表を標準とする。			4-1-2 補助労務 床掘作業の補助	労務は,	内容にかかわらず	作業の内容にかかわらず次表を標準とする。			1	
		表4.2 床掘補助労務		(10m ³ 当り)				表4.2 床掘補助労務	功労務	<u> </u>	(10m3当り)	_	
	名称	単位数量	葡				名称	単位数量	幸	摘要		_	
12H ²²	普通作業員	人 0.3	基面整正及び浮き石除去含む			19 ⁴⁴	普通作業員	人 0.3	基面整正及び浮き石除去含む	き石除去含む		1 1	
1	‡ +						!						
4-2 施工幅1m以上2m米海 4-2-1 日当り施工量 バックホウロ・ス 4 4 10/4	(上2m来淌 施工量 ·A在描记(作業+T)/	2. 施工幅1m以上2m来満 -2-1 日当り施工量 バッカホウ! ・アキ姫い/4巻+Tハの日当り降下号は、か来を福港レナス	7. 计文档 第7十分			4-2 施工幅1m以上2m米消4-2-1 日当り施工量 パックホウニ・ス 中超1/4	2 施工幅1m以上2m来消 -2-1 日当り施工量 バックホウニ・メ 年振り(4年 * エ)の日当り、特工書は、かまを連進とする	、土地上葬19年1	か事を輝淮レポス				
	\ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +	************************************	くならず十つ、ら。	(1月	(1月当り)	b	2/ 	次13/派士皇18,7 大表4.3 日当り施工量	ベベビボナー どう。 車			(1 H	(1日当り)
光排头				**	数量	2 株分						***	数量
内容を	名称	土質名	規格	単位 障害 なし	電舎あり	TF来の 内容	名 称	上質名	規	1 格	単位	立障害なし	確害あり
標準 (平均施工幅1	バックホウ	フキ質土・砂・砂質 土・若性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m³ 163	109	標準 (平均施工幅1	バックホウ	東の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		後方超小旋回型・超低騷音型排出ガス対策型(第3 次基準值) 山積 0. 45m3(平積 0. 35m3)) m ₃	163	109
m以上 2m未満)	(クローフ型) 運転 運転	岩塊・玉石	後方超小旋回型,超低縣音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積 0.45m3(平積 0.35m3)	m³ 119	92	m以上 2m未補)	(クローフ型) 運転	岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基達 山積 0.45m3(平積 0.35m3)	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積 0. 45m3(平積 0. 35m3)) m ₃	3 119	92
(注) 1. 現場条件の内容 ①床掘り (作業士 障害なし: (1) イ (2) を (2) を (2) を (2) を (2)	・現場条件の内容 ①床期り (作業士工) 障害なし: (1) 構造物及び建造物等の障害体 オープン組削の場合。 (2) 構造物及び設造物等の障害物 矢板のみの土留・仮緒の工期削 障害あり: (1) 床組作業において障害物等に (例えば作業降客が多い場合)。	等 十工) (本語が及び程造物等の障害物や交通 オープン類削の場合。 特害物及び選出物等の障害物や交通。 矢板のみの上留・仮緒切工期削の場合。 (外に発達物等において障害物等により施 (例えば作業廃害が多い場合)。	現場条件の内容 採掘り(作業士工) 障害なし:(1) 構造物及び軽造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない オープン類削の場合。 (2) 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が削限されない 矢板のみの上留・板締切工掘削の場合。 障害あり:(1) 床掘作業において障害物等により施工条件に削限がある場合 (例えば作業障害が多い場合)。			(注) 1. 現場条件の内容 (注) 1. 現場条件の内容 原字なし:(1) 解字なし:(1) イ (2) 大 解音あり:(1)	. 現場条件の内容 ①床掘り (作業士工) 障害なし: (1) 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない オープン掘削の場合。 (2) 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない 矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。 障害あり: (1) 床堀作業において障害物等により施工条件に制限がある場合 (例えば作業障害が多い場合)。	等 上工) (構造物及び建造物等の障害物や交通 オープン個別の場合。 特定物及び建造物等の條非物や交通 矢板のみの上留、仮緒切工規則の場合 () 保護作業において障害物等により施 () () () () () () () () () ())内容 (1) 構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない オープン細削の場合。 大量であるの子のでは高物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない 失板のみの土留・仮緒切工掘削の場合。 (1) 床銀作業において障害物等により施工条件に制限がある場合 (例えば作業障害が多い場合)。	条件が制限されな と件が制限されない る場合	\$. <i>c</i>		
②掘削値③基面整型2. 上表にク	(2) 上曽・仮締切上の ②瀬削箇所が地下水位等で排水を七 ③基面整正(床付面の整正作業)が2 2. 上表にクレーン作業は含まない。	Lの中に,切案・限匹 をせず水中掘削作業を3 が必要な場合は,基面§	(2)土留。依確的LO中に、切架・腹起し又は基礎抗等の障害物がある場合。 ②極前箇所が地下水位等で排水をセデ水中掘削作業を行う場合は障害ありを適用する。 ③基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100㎡当り普通作業員2人を別途計上する、上表にクレーン作業は含まない。	₩ \$		③報削箇3基五表た表たききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききききき<td>(2) 工館・仮締の江の中に、切突・機包し又は基礎汽等の解害物がある場合。 ②癌削箇所が地下水位等で排水をセず水中掘削作業を行う場合は障害ありを適用する。 ③基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100㎡当り普通作業員2人を別途計上する2. 上表にクレーン作業は含まない。</td><td>-の中に, 切案・版応 - 仕ず水中掘削作業を - 仏要な場合は, 基面 - 。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。</td><td>(2) 上指・仮締の工の中に、切突・腹起し又は基礎航等の障害物がある場合、地下水位等で排水をセブ水中掘削件業を行う場合は障害ありを適用する。 球体付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100㎡当り普通作業員2人を別途ペーン作業は含まない。</td><td>群帯物がある場合。) を適用する。 作業員2人を別途</td><td>計上する。</td><td></td><td></td>	(2) 工館・仮締の江の中に、切突・機包し又は基礎汽等の解害物がある場合。 ②癌削箇所が地下水位等で排水をセず水中掘削作業を行う場合は障害ありを適用する。 ③基面整正(床付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100㎡当り普通作業員2人を別途計上する2. 上表にクレーン作業は含まない。	-の中に, 切案・版応 - 仕ず水中掘削作業を - 仏要な場合は, 基面 - 。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	(2) 上指・仮締の工の中に、切突・腹起し又は基礎航等の障害物がある場合、地下水位等で排水をセブ水中掘削件業を行う場合は障害ありを適用する。 球体付面の整正作業)が必要な場合は、基面整正100㎡当り普通作業員2人を別途ペーン作業は含まない。	群帯物がある場合。) を適用する。 作業員2人を別途	計上する。		
4-2-2 補助労務	8					4-2-2 補助労務	簽						

	전 전	
構造物等(共同満を除く)の施工に当り土曜方式により床握作業を行う場合・ 台・上窗材等に付着する土(土へら)及び腹起し・切架・火打弾等により機 核脂劑出来ない箇所、小規模な源水処理等の作業のため、普通作業両を 計上する。 車・A 内 中国結単中学数(【1001·m***1 11.	権適物等(共同満を除く)の施工に当り土間方式により床館作業を行う場の、土留材等に付着する土(土べら)及り離乱・り架、火打架等により線構開門土本ない箇所、小規模な湧水処理等の作業のため、普通体業員を計する。	(is J _{ess} wegD)
(14) (14)	× ×	1047 数件
1	1477日	<
张子·第二号 张 唐 古 5 5 5 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	(全) 是	6.0
F0 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	タキシングンガーは材	6-0
5. 埋 戻 作 業 5-1 適用範囲 機械による埋戻し(敷均し含む)及び締固めの一連作業に適用する。	5. 埋 戻 作 業 5-1 適用範囲 機械による埋戻し(敷均し含む)及び締固めの一連作業に適用する。	
5-2 日当り施工量 バックホウによる埋戻作業の日当り施工量は、次表を標準とする。	5-2 日当り施工量 バックホウによる埋戻作業の日当り施工量は、次表を標準とする。	
表5.1 日当り施工量 (1日当り)	表5.1 日当り施工量	(1日当り)
名 称 規 格 様 単位数 数 量 パップク ホ ウ (ケ月ルを) (アルイスが素質(第2次基準値) m³ 40 ロ い 。	名 称 規 格 規 格 単 (**********************************	1 位数 量 m3 40 n2
	/ / / 単 型 主) 上表には, はねつけ~緇	
5-3 補助労務 埋反作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。	5-3 補助労務 埋戻作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。	
表5.2 埋戻作業補助労務 (10m³当り) 名 称 単位 数量 類量 摘 要	表5.2 埋戻作業補助労務 名称 単位 数量 摘	(10m³当り) 要
巻 通 作 業 貞 人 0.8 敷均し及びタンパ溶固め補助 (注)上表には,はねつけ~縮固めまでの作業が含まれる。	善 道 作 業 貞 人 0.8 敷均し及びタンパ縮固め補助 (注) 上表には、はねつけ~縮固めまでの作業が含まれる。	る補助。
6. 運 骸 作 業	6. 運 搬 作 業	
6-1 施工步掛 運搬作業の施工歩掛は、次表を標準とする。	6 — 1 施工步掛 運搬作業の施工步掛は、次表を標準とする。	
運搬作業の施工歩掛は、次表を標準とする。	運搬作業の施工歩掛は、次表を標準とする。	
表6.1 ダンプトラック運搬日数(土砂) (10m3当り)	表6.1 ダンプトラック運搬日数(土砂)	(10m³当り)
積込機種・規格 ベックホウ (クローラ型)[標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積0.28m ³ (平積0.2m ³) バックホウ (クローラ型)[後方超小旋回型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	(第2機種・規格 パックホウ (クローラ型)[標準型・排出ガス対策型 (第2次基準権 パックホウ (クローラ型)[後方超小能回型・排出ガス対策型 (第	(第2次基準値)]山積0.28m°(平積0.2m³) ス対策型 (第2次基準値)]山積0.28m³(平積0.2m³)
運搬機種・規格 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]41積級	運機機種・規格 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]44績級	
DID区間: 熊し	DID区間:無し	-
機距離 (km) 以7	西離 (km) 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下	10.0 13.0 19.0 35.0 60 以下 以下 以下 以下 以
運搬目数 (日) 0.2 0.25 0.3 0.35 0.4 0.45 0.5 0.56 0.6 0.8 0.9 1.1 1.5 2.3	運機日数(日) 0.2 0.25 0.3 0.35 0.4 0.45 0.5 0.55 0.55 0.	0.6 0.8 0.9 1.1 1.5 2.3

 運搬距離(km) 0.2 1.0 1.5 以下 以下	DIDK開: 45 1.6 2.0 3.0 3.5 4.5 5.5 7.0 9.0 17.0 27.0 60.0 以下
百難 (km) 0.2 1.0 1.5 以下	2 1.0 1.5 2.0 3.0 3.5 4.5 5.5 7.0 9.0 12.0 17.0 27.0 60. T
 ※確・規格 ペックホウ (フローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山(積0.13m² (平積0.1m²) ※確・規格 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2.1積線 単型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 山(積0.13m² (平積0.1m²) 単型・排出ガス対策型 (第2次表準値)] 山(積0.13m² (平積0.1m²) 単型・推進 (基度) 単型・推出ガス対策型 (第2次表準値)] 山(積0.13m² (平積0.1m²) 単型・推進 (基度) 単型・推進 (基度) 財政 以下 以下	2 0.25 0.3 0.35 0.4 0.45 0.5 0.55 0.6 0.8 0.9 1.1 1.5 2.
 製種・規格 パックホウ (クローラ型) [標準型・排出がる検索型 (第2次基準値)]山積0.13m² (平積0.1m²) 難の機種・	表6.2 ダンブトラック運搬日数(土砂) (10m³当り)
 製罐・規格 ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]24積級 車路機種・	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)]山積0.13m² (平積0.1m²)
再離 (km) Q3 1.0 1.5 25 3.0 3.5 4.5 5.5 7.0 以下	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]2:積級
再離 (km) 0.3 1.0 1.5 2.5 3.0 3.5 4.5 5.5 7.0 9.0 12.0 17.0 28.5 60.0 運換瓶雕	DID区間:無し
日数 (日) 0.45 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0 4.5 間諜日数	0.3 1.0 1.5 2.5 3.0 3.5 4.5 5.5 7.0 9.0 12.0 17.0 28.5 60.0 以下 以下
	0.45 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0 4.5
DID区間: 有り	DID区間:有り
運搬距離 (km) 0.3 1.0 1.5 2.5 3.0 3.6 3.6 4.5 5.0 6.5 8.0 11.0 15.0 2.4.0 60.0 運搬距離 (km)	0.3 1.0 1.5 2.5 3.0 3.5 4.5 5.0 6.5 8.0 11.0 15.0 24.0 60.0 以下 以下 以
運搬日数 (日) 0.45 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0 4.5 運搬日数 (日)	0.45 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0 1.1 1.3 1.5 1.8 2.3 3.0 4.5
(注) 1. 上表は旭山10m ³ の上量を運搬する日数である。	上表は地山10m ³ の土量を運搬する日数である。 運搬距離は片道であり、住路と復路が異なるときは、平均値とする。 自動車専用道路を利用する場合には、別途計上する。 DID(人口集中地区)は、総務省総計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。 運搬距離が60mを超える場合は、別途考慮する。
6-2 補正係数 (K) 6-2 補正係数 (K) 6-2 補正係数 (K) 6-2 補正係数 (K) 2-2 補正係数 (K) 6-2 補正係数 6-2 前正係数 6-2 前正係数 7-2 10m3·31 0 連絡日数 1-2 10m3·31 0 = 10m3·31	油正係数(K) 舗装版破砕積込作業歩掛に対する適用土質(アスファルト塊)による補正は、次式により行うものとし、補正係数 (K) の値は改表とする。 (D) の値は改表とする。
	1
☆ 4 年 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	双O.3 備に形数(K)
補 正 係 数 +0.30	補 正 係 数 +0.30
7. 単 価 表 (1) バックホウ期削積込10m ³ 当り単価表	表 ホウ棚削積込10㎡当り単価表
名 称 規 格 単位 数量 摘 要	名称 規格 単位 数量 摘要
/メックホウ (ラローラ型) 連転 山原、28m (平衡、2m) 又は 山原、13m (平衡、1m) 又は 山原、13m (平衡、1m) とは	バックホウ (タローラ型) 運転 山船 28m ² (平徳 1m ²) 又は 日 10/D 機械損料
	諸 雑 費
र्ताच्य	· 静玉
海工職 (共) D:日示り施工庫	(注) D:日当り施工量
(2) バックホウ積込10m³当り単価表	パックホウ積込10m°当り単価表
名 称 規 格 単位 数量 摘 要	名称 規格 単位 数量 摘要
バックホウ (クローラ型) 運転 山柳 12m 「平衡 2m 又は 日 10/D 機械損料	バックホウ (クローラ型) 運転 山橋0.2m ¹ (平橋0.2m ²) Xは 山橋0.2m ² (平橋0.2m ² (平橋0.2m ²) Xは 山橋0.2m ² (平橋0.2m ²) Xは
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 化 報 業 器
- Inhica	- H

光	(注) D:日当り施工量	(3) バックホウ舗装版破砕積込10mº当り単価表	称 規格 単位 数量	ホウ - ラ型)運転 山積0.13m (平積0.1m) ************************************	型	(注) D:日:0 施工量	(4-1) バックホウ床掘10m³当り単価表(施工幅1m未満)	名称 規格 単位 数量 縮 要	III(/ネックホウ (クローラ型) 運 (株計ガス核重 (%3次生産) 転 山低0.2m (平積0.2m)	器 雑 費	- He	(注) D:日当り施工量	(4-2) バックホウ床掘100m³当り単価表(施工幅1m以上2m未満)	名称	月	バックホウ (クローラ型) 運 山橋0.45m3(平穏0.35m3) 機械損料 機械損料	歡	146	(注) D:日当り施工量	(5) バックホウ埋戻し10m3当り単価表	名称 規格 単位 数量 摘要	人 表5.2	/シックホウ (クローラ型) 運転 指型が終幕(第2次集権) ロ 10/D 機械損料 (カローラ型) 運転	タンパ運転 質量60~80kg " 10/D	日 元	tha	(注) D: H当9 施工量	(6) ダンプトラック運搬10m³当り単価表	名 称 規格 単位 数量 摘 要	ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル 日 表6.1~表6.3
	_																												<u> </u>		
			単位 数量 摘画	日 10/D 機械指料	T T			単位 数量 摘 要	人 表4.2	日 10/0 養徒捐料	1				単位 数量 摘 要		日 100/D 表4.3 機械損料	1				単位 数量 簡	人 表5.2	口 10/0 表5.1 機械損料	" 10/D	1 1				位数量椭数	
現 行		(3) バックホウ舗装版破砕積込10m²当り単価表	単位数量	10/D	F. 1	(注) D:日当り施工量	(4-1) バックホウ床棚10m³当り単価表(施工幅1m未満)	数量	~	10/D			1	バックホウ床樹100m³当り単価表(施工幅1m以上2m未満)	数量	Y	100/D	私			(5) パックホウ埋戻し10m³当り単価表	教量	Y	0/01		1 名			(6) ダンプトラック運搬10m ³ 当り単価表	攉	オンロード・ディーゼル 日 表6.1~表6.3

	1			長事項	運転労務数量→ 1.00 然料 消費 最→ 40 機械損料数量→ 1.59	運転労務数量→ 1.00 3 燃料消費量→ 24 機械損料数量→ 1.33	運転 機械 機械損	運転労 機料消費 機械損料	運転労務数量→ 1.00 燃料 消費 量→ 34 機械損料数量→ 1.18	運転労務数量→ 1.00 燃料消費量→ 23 機械損料数量→ 1.17	運転労務数量→ 1.00
	낚			適用単価表	機—33	機—33	機—33	機一33	機—22	機—22	機—23
당				規 格	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28㎡ (平積0.2㎡)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.13㎡(平積0.1㎡)	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積0.28m (平積0.2m)	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3 次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	オンロード・ディーゼル 4t積級	オンロード・ディーゼル 2t積級	質量60~80kg
	話 雑 費	扫	(7) 機械運転単価表	機械名	バックホウ (クローラ型)	ll l	ll l	バックホウ (クローラ型) (床掘り)	ダンプトラック	ll l	タンパ及びランマ
	_		(7) 機								
	1		(7)機	指定事項	転劣務数量→ 1.00 科 消費 量→ 40 被損料数量→ 1.57	転労務数量— 1.00 科 消 費 量 — 24 破損料数量— 1.32	本	転労務数量→1,00 料消費量→ 48 被損料数量→1.33	転労務数量→ 1. 00 科 消 費 量 → 34 械損料数量→ 1. 17	<u>斯特務量</u> → 1.00 科 消費 量 → 2.3 被損料数量 → 1.17	345 m 14
	1		(2) 機	定事	機33	機─33	機一33	議示学務每十1:00 機-33 統科領籍 - 1:8 機械資产教籍-1:33	後 後 後 事 世 大		選転労務数量→ 1.00 機一23 機利科教量→ 6 主機科科教量→ 1.62 主機科→ ガソリン
	11			用単価表 指 定 事	運転労務数量→ 燃料消費量→ 機械損料数量→	運転労務数量→ (無料消費量→ 機械損料数量→	運転労務数量→ (無料消費量→ 機械損料数量→		運転労務数量→ 機一22 燃料消費量→ 機械損料数量→	運転労務数量→燃料消費量→機械損料数量→	運転労務数量→ 燃料消費量→ 機械損料数量→ 主燃料